

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動内容に合わせて、適切なスペースを保つことができるよう工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準よりも多く職員を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			利用者の状態に合わせて、視覚支援を活用したり、刺激を軽減する工夫をすることで、構造化された環境になっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	○			毎日のミーティングの中で実施しています。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	○			ホームページで公開しています。
	6	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は実施していませんが、今後法人で検討していく予定です。
	8	職員の資質向上を行うために研修の機会を確保しているか	○			近郊で実施される外部研修への参加、外部研修に参加した職員からの伝達研修等、積極的に行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	こどもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			牧野・山田式言語保育発達検査を使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日々のミーティングの中で、活動プログラムの立案を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			日々のミーティングの中で、活動プログラムの立案を行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			イベント(ハロウィン、クリスマス等)を行ったり、長期休暇時に野外活動を増やす等、時期に合わせて対応しています。
	14	こどもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			小グループでの活動の中で、個々の目標設定に応じた支援を行っています。個別対応が必要な場合は、マンツーマンで対応しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、開始前にミーティングを行い、活動内容や職員の動き等を確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	○			毎日、終了後のミーティングの中で、活動内容の振り返り、改善点の検討、お子さんの様子について気付いた点や保護者からの連絡事項等を確認しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			終了後のミーティングで話し合った内容を記録し、支援の検証・改善につなげています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			ミーティングで話し合った内容をもとに、計画についての見直しを行っています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			1ヶ月の中で、運動・制作活動・クッキング等、複数の活動を組み合わせ支援を行っています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したもっともふさわしい者が参画しているか	○			管理者または児童発達支援管理責任者が参画しています。必要に応じて他の職員も参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認など)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			保護者を通して、行事予定表等の情報を得ている(送迎は実施していません)。
	22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			保護者を通して、必要に応じて連絡を取っていました(2024.3月現在、対象となる利用者はいません)。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援との多機能型事業所のため、就学前から継続利用しているお子さんが多いです。就学前に利用していなかったお子さんについては、相談支援事業所からの情報提供を参考にしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか		○		必要に応じて個別に対応しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修に参加したり、支援方法の助言を受けたりしています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のないこどもと活動する機会があるか		○		利用者本人や保護者が交流を求めているため、交流したり一緒に活動したりする機会は設けていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			小樽市の支援協議会等に参加しています。
	28	日ごろからこどもの状況を保護者と伝えあい、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時に保護者の方とお話したり、LINEや連絡帳を活用しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		○		必要に応じて個別に対応しています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明しています。
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者面談の他、来所時、LINE、電話等での相談も行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			不定期ですが【ちよこっぴとあぷぷ】を開催する等、保護者同士で交流できる機会を設けています。対面とzoomを使用したハイブリッド方式で実施しています。今後も保護者同士の連携をサポートできるように、様々な方法を検討していきます。
	33	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決の責任者及び受付担当を設置して、対応しています。また、契約時に、第三者機関の苦情受付窓口の紹介もしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページで活動内容等を発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の取扱については、契約時に保護者に説明しています。ホームページ等では、個人が特定されるものは掲載しないことを徹底しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個別に対応しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待するなど地域に開かれた事業運営を図っているか	○			近隣のお店での買い物等の野外活動を定期的に行っています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			現在、専門家と相談しながら、新しいものを作成中です。
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救助その他必要な訓練を行っているか	○			年に数回、地震及び火災を想定した避難訓練と防災スタンプラリーで避難経路等の確認を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか	○			毎年研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		対象となる利用者がいません。
	42	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者と連携しながら対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例を記録し改善点を周知徹底しています。